

第4回 高梁学園学術研究 コンファレンス

参加費無料

費やした時間の成果を見せる。異なる視点に、刺激を受ける。そんな濃密な一日を、今年も。

高梁学園学術研究コンファレンスは「各専門分野の研究者が横断的に連携することで、新たな視点をもった専門性の高い学際的研究を期するとともに、高梁学園全体（吉備国際大学、九州保健福祉大学、順正短期大学、順正高等看護専門学校、九州保健福祉大学総合医療専門学校）の学問水準の向上と研究者の研究意欲の向上及び若手研究者の育成をはかる」ことを目的としています。

また、「建学の理念を達成するための教育上の試み」をコンセプトとして、各設置校における特色ある教育上の取組についても学内外に広く紹介することとしています。

専門分野の異なる研究者たちが、高度な優れた研究の成果について「分かりやすく」をモットーに発表します。

なお、本コンファレンスは地域の方々にも積極的にご参加して頂き、本学園の教育研究の取り組みと成果を知って頂くことにより、科学的な知識や教養の深化につながることを期待しています。

開催日時

【教育部門】平成20年**3月8日（土）** 14:30～18:30

【研究部門】平成20年**3月9日（日）** 9:00～15:30

開催場所

【高梁地区】吉備国際大学 7号館711講義室（本会場）

【宮崎地区】九州保健福祉大学 F講義棟（遠隔会場）

特 別 発 表

- 「エコアクション21」導入の取り組み
吉備国際大学 政策マネジメント学部
加藤 雅彦 他

教 育 部 門 発 表

- 異文化におけるボランティア体験が
学生に与える影響に関して～国際協力実習の経験から～
吉備国際大学 社会福祉学部 社会福祉学科
橋本 由紀子
- 当事者との共感を重視した福祉教育プログラムの開発
九州保健福祉大学 社会福祉学部 福祉環境マネジメント学科
三宮 基裕 他
- “その時”学生を動かす！兵法的思考を活用した教育
～平成19年度に経験した2件の事例紹介と検討～
吉備国際大学 保健科学部 理学療法学科
佐藤 三矢
- 言語聴覚療法学科における基礎ゼミの現状と課題
～基本的臨床スキルの向上を目指して～
九州保健福祉大学 保健科学部 言語聴覚療法学科
太田 栄次 他
- 手指衛生教育後の看護学生の手洗いと
擦式手指消毒状況 吉備国際大学 保健科学部 看護学科
掛谷 益子
- 小中学生に対する薬物乱用防止教育の実践と応用
九州保健福祉大学 薬学部 薬学科
宇佐見 則行 他

研 究 部 門 発 表

- 植民地における看護婦養成の実態
～朝鮮の日本窒素肥料株式会社附属病院看護婦養成所について～
九州保健福祉大学総合医療専門学校 看護学科
鍋島 まゆみ
- 粘土場による幼児造形教育とICTで繋ぐ地域連携
順正短期大学 幼児教育科
前嶋 英輝
- 地域での動物飼育をめぐるコンフリクトの解消過程
～横浜市における「地域猫」活動の事例～
九州保健福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉学科
加藤 謙介
- 「日本におけるエコシティの比較研究
～食と農の新たな地域戦略～」
吉備国際大学 社会学部 ビジネスコミュニケーション学科
碓井 崧 他
- 視覚伝導路学習ソフトの作成
九州保健福祉大学 保健科学部 視機能療法学科
川野 純一 他
- Closed Kinetic Chainのバイオメカニクス研究
吉備国際大学 保健科学部 理学療法学科
河村 顕治
- 血液透析療法における透析液清浄化対策
～ET濃度から細菌数管理まで～
九州保健福祉大学 保健科学部 臨床工学科
砂子澤 裕 他
- 特殊器台透かし文様の起源に関する研究
吉備国際大学 文化財学部 文化財修復国際協力学科
臼井 洋輔
- 家庭用電化製品に含まれる化学物質の
胎児・新生児に対する危険性
九州保健福祉大学 薬学部 薬学科
渡辺 渡 他
- オレンジオイルとリモネンオイルによる
p38経路を介したPC12m3細胞の分化
吉備国際大学 保健科学部 看護学科
四宮 美佐恵 他

審 査 員

審査委員長

和田 昭允 学校法人高梁学園 顧問

教育部門の審査委員

和田 昭允 学校法人高梁学園 顧問
中山 弘輝 高梁高等学校 校長
加藤瑠美子 学校法人加藤学園 副理事長
大原謙一郎 財団法人大原美術館 理事長
高橋 香代 岡山大学 教育学部長

研究部門の審査委員

和田 昭允 学校法人高梁学園 顧問
青井 賢平 財団法人岡山県産業振興財団 理事長
佐藤 邦夫 NHK岡山放送局 副局長
赤木 靖春 学校法人加計学園 専務理事
江草 安彦 社会福祉法人旭川荘 名誉理事長